

静岡県総合社会福祉会館指定管理者評価委員会の結果

令和7年9月

静岡県健康福祉部福祉長寿局地域福祉課

- 1 指定管理者名：社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会
- 2 指定期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）
- 3 開催日：令和7年8月25日（月）
- 4 議事内容
令和6年度会館運営の評価

5 評価委員会委員（☆：委員長）

氏名	職名
小野 信一	（一社）静岡県建築士会 副会長
川島 貴美江	静岡英和学院大学 人間社会学部 コミュニティ福祉学科 教学特別参与・教授
田島 泉美	税理士 田島攝規事務所
☆ 東野 定律	静岡県立大学 経営情報学部 教授
伏見 隆次	静岡県車椅子友の会
米山 紀子	静岡県健康福祉部福祉長寿局長

6 令和6年度会館運営の評価

(1) 評価の流れ

- ア 指定管理者による「評価シート」の提出と自己評価
- ・指定管理者は、指定管理業務の実績について、「評価シート」の作成及び自己評価を実施する。
- イ 静岡県総合社会福祉会館指定管理者評価委員会による評価
- ・指定管理者が作成した「評価シート」及び自己評価をもとに、ヒアリング等を実施する。
 - ・各委員により評価事項ごとに採点を行う。
 - ・各委員採点の合計得点により、各評価事項及び全体の評価を5段階で評価し、公表へつなげる。

(2) 評価の基準

ア 評価項目

評価項目	評価事項
有料会議室の利用状況	会議室利用実績
	会議室利用向上への取組実績
収支実績	収支実績
	管理費縮減への取組実績
利用者満足度向上への取組実績	入居団体への取組実績
	一般利用者への取組実績・受付ボランティアに対する指導等
	アンケート調査に対する取組状況
会館施設・設備の適正管理への取組実績	修繕の状況
	県工事への協力・安全管理
危機管理業務の実績	事故防止への取組・危機管理上の規定の整備
	災害ボランティア本部の訓練・自衛消防隊の訓練
事業計画に対する実施状況	自主事業など計画内容の取組実績

イ 評価基準

評価委員会による評価は、評価事項ごとに5段階で行った。

内容	たいへん 評価できる	概ね 評価できる	可も不可 もない	あまり評価 できない	まったく評価 できない
評価点	5	4	3	2	1

(3) 評価結果

評価委員会委員による評価点は4.7点であり、「概ね評価できる」との評価となった。

評価項目	評価事項	評価点	主な理由・意見
有料会議室の利用状況	会議室利用実績	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度の利用件数は過去最高水準であり、利用率も前年を上回り、コロナ後は着実に回復している。 ・前年より実績は増加しているものの、夜間の利用率については底上げを図りたい。
	会議室利用向上への取組実績	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの課題であるが、ネット予約が可能となればより利用の利便性が高まると期待できるので、是非進めていただきたい。 ・ネット予約導入は早期に実現して欲しい。 ・ネットでの予約システムの導入は是非に実施されたい。 ・Wi-Fi設備の設置の周知や老朽化した机、椅子運搬用の台車を計画的に更新するなど評価できる。
収支実績	収支実績	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率が上がり利用料の収入は増加しているが、他の収入増につながる取組を考えることが必要。 ・水道光熱費の高騰にもかかわらず、経費削減等により収支均衡が図られている。
	管理費縮減への取組実績	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡ビル保善の経験の強みを活かして経費削減に努めている。 ・クールビズ、照明減灯、冷暖房設定管理などで光熱費抑制を徹底し、経費削減に努めた。
利用者満足度向上への取組実績	入居団体への取組実績	5.0	<ul style="list-style-type: none"> ・会館連絡会の開催、フェスタシズウエルでの広報協力など、団体間連携を推進した。 ・対面式の連絡会に努め、適切に開催している。(回数が多いという意見もあるが、なるべく開催すべきである)
	一般利用者への取組実績・受付ボランティアに対する指導等	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱やHPで要望を収集し対応。 ・受付ボランティア研修の実施など利便性向上に努めたが、一部要望は未対応。
	アンケート調査に対する取組状況	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査で得られた要望に充分に対応できるようにまだ工夫できる点がある(バリアフリーの部分、駐車場のアクセスなど)。 ・アンケートに対し対応可能なものは速やかに対応している。
会館施設・設備の適正管理への取組実績	修繕の状況	5.0	<ul style="list-style-type: none"> ・会館の老朽化の中、昨年同様に優先度の高い事案から修繕していることや、突発的に発生した不具合への対応など評価できる。 ・静岡ビル保善が指定管理者に加わったことで、修繕の優先順位をつけて、効果的、効率的に行われている。
	県工事への協力・安全管理	5.0	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き大規模修繕を進めるにあたり、県との調整をうまくやっていただきたい。 ・入居団体や会議室利用者と工事業者との連絡調整はスムーズに行われたようなので評価する。0
危機管理業務の実績	事故防止への取組・危機管理上の規定の整備	5.0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策、防犯対策等の実施については速やかに対応しており評価できる。 ・事故なく、防犯対策面でも適切に対応しているものと思われる。
	災害ボランティア本部の訓練・自衛消防隊の訓練	5.0	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き災害ボランティア、自衛消防隊の運営がなされるように運営支援をしていただきたい。 ・毎年開催されている会館防災訓練の実施や、イーバックチェア訓練を行ったこと、被災地支援などを行い、災害ボランティア本部訓練に替えたことなど評価できる。

事業計画に対する実施状況	自主事業など計画内容の取組実績	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・未だ広報できる取組があるのではないかとと思われる。会館の存在をもっとアピールすべき。(地域のイベントとのコラボ等) ・フェスタシズウエルが大盛況で、認知度が向上した。 ・地域商店街との連携はポスター掲示にとどまり、今後の発展が課題。 ・近隣商店街、周辺地域等との連携について引き続き検討されたい。
全体の評価 (平均点)		4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBでの予約も、広報の部分でもWEBを使うなどデジタルコンテンツの充実を図るようにしていくことで、若い世代をはじめとする、今まで認知していなかった人々へ存在をアピールすることができるのではないかと思います。 ・老朽化との戦いで苦勞されていると思いますが、利用率の向上、施設(会館)の知名度の向上をより図り、愛される施設となるため、一層の工夫をお願いしたい。 ・自主事業について、前年の反省を踏まえて工夫していただきたい。